

さくたのうなで

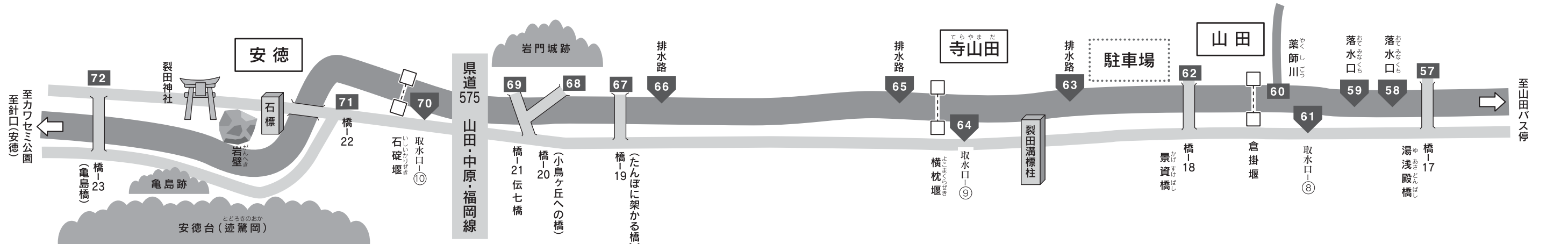
裂田溝と周辺の史跡景勝58～71

裂田溝No.4(山田地区)

	地域	No.	コースメモ	No.	史跡メモ			
探訪95 裂田溝22	倉掛堰周辺	58	おてみなくち 落水口(上流側)	▪	岩門城跡登山口	▪	くらかけ 鞍掛なまず	
		59	おてみなくち 落水口(下流側)	▪	発掘の説明(板井崎)…田の名前			
		60	やくしごう 葉師川		(水路の跡			
		61	取水口ー⑧ 倉掛堰		14世紀前半の木杭			
		62	かけすげばし 景資橋		(縄文土器(土師器・陶磁器)			
探訪96 裂田溝23	横枕堰周辺	63	排水路	▪	裂田溝標柱	▪	庭園 (つつじ・初御代桜)	
		64	よこまくらせき 取水口ー⑨ 横枕堰(巻上げ無し)	▪	高津神社			
		65	排水路	▪	かきがとう 柿ヶ塔の滝(那珂川霊場 滝-12番札所)			
				▪	千手観音(那珂川八十八ヶ所 71番札所)			
探訪97 裂田溝24	伝七橋周辺	66	排水路	▪	岩門城跡	発掘出土品	柱穴	
		67	橋-19(田んぼに架かる橋)	▪	ちやうすいわ 茶臼岩		せん か 銭貨出土(古銭)	
		68	橋-20(小鳥ヶ丘への橋)	▪	てんぐいわ 天狗岩		くぎ ごいし ひなわじゅう 釘・碁石・火縄銃の玉	
		69	橋-21 伝七橋				は し き 土師器・青磁	
県道575 山田・中原・福岡線								
探訪98 裂田溝25	石碇堰周辺	70	いしいかりせき 取水口ー⑩石碇堰	▪	りゅうとういけ 龍頭池	▪	ひきうす 礪臼(出土)	
		71	橋-22(安徳へ行く橋)					

(安徳地区)

	地域	No.	史跡メモ		No.	史跡メモ	
99・26	神社周辺	▪	せきひょう 石標(山田地区・安徳地区の境)		▪	とどろきのおか 安徳台(迹鷲岡)	
		▪	がんへき おおいわ 岩壁(大磐)	▪	かめしま 亀島跡	▪	さく た じん じゃ 裂田神社
探訪100 裂田溝27	安徳台と西側周辺	▪	しんがく 裂田神社御神額	▪	しんもん もんじょう 神文(菊の紋章)	▪	ふ じのまきかり ず 絵馬(富士巻狩図)
		▪	こまいぬ 狛犬	▪	しめ かけ いし 柱連懸石	▪	
		▪	①3月の社日(春ごもり)		▪	②7月(夏ごもり)	
		▪	③9月(社日ごもり)		▪	④11月28日(火たきごもり)	



探訪 117

ながわ

那珂川町郷土史研究会

裂田溝44

散策コース表(4)

黄金色の絨毯を敷きつめたよ
うな稲田も収穫が終わると、切
り株だけの田んぼに変わり、急
に淋しくなった感じがします。
稲田を守ってくださった裂田
溝の「堰守り・水守り」さんたち
が早い山田地区では、9月20日
に伏見神社の裏山にある「御穀神」
で、豊穣に感謝するお祭りが行
なわれました。溝の下流の地区
でも、田植え前の「水もらいこも
り」や秋の感謝祭の「おこもり」
は続いているそうです。
山田に残る伝説を紹介します。

昔、寺山田の北側一帯の田ん
ぼは、比較的湿地が多く、裂田溝
を掘り進むのが難しかったそう
です。現在の「沖田」(裂田神社の
西側の田んぼ)と言われる一帯
が特にひどく、数百年前までは「鶴
」が飛来していたそうです。現在
の寺山田のあたりででしょうか、
掘削が進まず困り果てていたと
き、背中に「鞍」を背負ったような
ひとときわ大きい「ナマズ」が現れ
て「こつちの方を掘れ、こつちの
方を掘れ」というような仕草を
していたそうです。このおかげ
で安徳に向かつて溝の掘削が無
事進んだと伝えられています。
またこの伝説によるものでしよ
うか、「倉掛」という地名が残っ
ています。今も山田地区では、神
の使いである「ナマズ」を食べて
はいけないという習慣は固く守
られています。このことは、裂田
溝が「ナマズ」のおかげで完成で
きたことへの感謝の心を表した
伝説とも言えるでしょう。

次号は、散策コース表(5)を
紹介します。



御穀神祭り

伏見神社裏山82段の階段を登った頂に御穀神が祭られています。
新しい注連縄を奉じ、新米をお供えて五穀豊穣に感謝し直会が
行われます。



山田の大ナマズ

裂田水路の護岸改修工事の期間、生息している魚類を工事区間
外に移動させるとき発見されたナマズです。体長40センチ以上あ
る大物でした。